



9月の検討課題

1. パイプラインの停止状況

長雨による雨水侵入やごみの堆積、さらに代替収集の実証実験により、一部の地区・投入口でパイプラインが停止しています。

9月16日現在、陽光町・海洋町・南浜町は運転中ですが、浜風町、新浜町、高浜町、若葉町、緑町、潮見町では一部の投入口が停止しています。

今後も停止状況を利用者に分かりやすく伝えるとともに、停止時の代替収集を円滑に行うことが重要です。

2. パイプライン代替収集の実証実験

8月15日から代替収集の実証実験が始まりました。実際に利用することで、事前には分からなかった良い点と改善すべき点が見えてきました。

【良かった点】

ごみの大きな散乱や著しい液だれ、カラスによる被害などは、現時点では大きな問題になっていません。また、24時間ごみを出せることを評価する利用者の意見もあります。高層住宅のごみカート方式では、14台分の収集に約10分に対応でき、収集作業員からも作業性を評価する意見がありました。

【今後の検討課題】

戸建住宅では、金属ボックスの光の反射、夏場の熱さ、虫の発生、清掃方法などが課題として挙がっています。第2弾では塗装やカート内蔵方式による改善が期待されています。

高層住宅では、ルーバーとカートの干渉、蓋の開けにくさ、金網ドアの操作性、景観、出入口の位置によるカート利用の偏りなど、設備の使いやすさについて改善すべき点が確認されています。

実証実験で大切なのは、問題が出ないことではありません。

実際に使う → 問題を見つける → 改善する → もう一度確認する

この繰り返しによって、将来のより良い収集方法につなげることが実証実験の目的です。

今後は、①利用者の使いやすさ、②管理する側の負担、③収集作業のしやすさ、④景観・衛生など周辺環境への影響という共通の視点から各方式を比較していくことが重要です。

3. 生ごみ減量ワークショップ

今回のワークショップでは、家庭でできる生ごみ減量について、皆さんの経験やアイデアを出し合います。

目的は「正しい答え」を一つ決めることではありません。「私はこんな工夫をしている」「これなら私にもできそう」という知恵を持ち寄り、お互いに学ぶことです。

今回は2人程度のグループで、現在実践していること、これからやってみたいことをカードに書き、似たアイデアをまとめて「みんなの知恵マップ」を作ります。

今回の会議で共有したいこと

1. パイプラインの現状を知る。
2. 代替収集を実際に使って問題を見つけ、改善する。
3. そして、自分たちが出すごみを少しでも減らす。

この3つを、行政だけの問題ではなく、利用者・地域・行政が一緒に考えていくことが、今回の利用者の会の大きなテーマです。